

ほげんたより11月

NO.7
令和元年11月14日
広島市立広島特別支援学校
保健室

11月8日は立冬で暦の上では冬が始まりました。気温も下がり体調を崩す人が増えてきています。適切な運動と休養、栄養補給などで体調を整えていきましょう。また、手洗いとうがい、必要に応じてマスクをして、菌を体内に入れない工夫をしていきましょう。

なお、発熱（目安として37.5℃以上）がある場合には、家庭でしっかり休養を取っていただき、学校で発熱した場合には、感染の拡大予防のためスクールバスは利用せずに、保護者の皆様にお迎えをお願いしています。御協力よろしくお願いします。

1 インフルエンザの予防について

毎年12月以降に流行し始めるインフルエンザですが、今年は9月頃から広島市内でもインフルエンザ患者が確認されています。例年より早いインフルエンザ流行の可能性もありますので、予防接種が可能なお子様に関しましては、早めの接種をよろしくお願ひします。

インフルエンザの
予防接種スケジュールを
決めよう

インフルエンザの予防接種を打つと、絶対かからない？


いいえ、絶対かからないわけではありません。でも、かかりにくくなったり、かかっても重症になるのを防ぐことができます。

効果はどれくらい続くの？

接種した日（2回接種の場合は2回目）の2週間後から約5カ月間、効果は続きます。

いつごろ打てばいい？

インフルエンザは、だいたい12月から3月ごろに流行し、ピークは1月から2月です。予防接種の効果が出てくるまでに2週間ほどかかるので、12月中旬までに打ち終わるのがいいと思います。



様々なウイルス・細菌が原因

カゼ

- せきや鼻水、のどの痛みなど上気道症状が中心
- 37度台の発熱が多い
- 症状は軽め
- 発症はゆるやか

インフルエンザウイルスが原因

インフルエンザ

- 上気道症状に加え関節痛や倦怠感などの全身症状も
- しばしば38度以上の高熱
- 症状が重い
- 急激に発症する

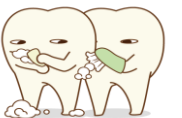
2 矯正治療に関する健康相談を行いました

今年度も、学校歯科医の上田裕次先生の御協力の下、10月23日（水）に広島大学病院矯正歯科の谷本幸太郎先生、柄優至先生、堀江佳代先生、山田桜先生、高野真実先生をお招きし、矯正治療に関する健康相談を実施しました。今年度は、17名の方が参加されました。保護者の方からは、「相談だけで病院には行きづらいのでいい機会をつくってもらえてよかった。」「気になることを相談でき、アドバイスをもらえてよかった。」等の感想をいただきました。



3 秋の歯科検診について

10月24日と31日（欠席者は11月7日）に、秋の歯科検診を行いました。春の歯科検診後、報告書を提出していただいた保護者の皆様もいらっしゃいましたが、検診を実施した場合はお知らせすることとしているため、今回も結果をお知らせしています。歯の健康は体全体の健康につながりますので、早めの治療をよろしくお願ひします。



秋の歯科検診結果

< 歯の記号の意味 >

『CO』は、要観察歯。そのままにしておくともし歯になってしまう恐れのある歯です。
『GO』は、歯ぐきが軽い炎症を起こしている状態のことです。
『G』は、歯肉炎。治療が必要な状態です。

単位：(人)

	検診を受けた人数	むし歯があった人数	COがあった人数	GOの人数	Gの人数
小学部合計	143	14 (9.7%)	12 (8.3%)	33 (23.0%)	13 (9.0%)
中学部合計	100	12 (12%)	16 (16%)	50 (50%)	11 (11%)
高等部合計	250	48 (19.2%)	53 (21.2%)	77 (30.8%)	48 (19.2%)
学校全体	493	74 (15.0%)	81 (16.4%)	160 (32.4%)	72 (14.6%)